

2022秋季年末闘争ニュース

No.23-02 2022年12月1日
発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部
【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>
メ-ル: union@r05.itscom.net

物価高騰！賃上げ・最賃UPしかない！宣伝行動

11月19日(土)の午後、恒例の目黒労協・めぐろユニオン・JMITU 目黒地域支部による宣伝行動。最低賃金引き上げ、労働組合に入ろうと呼びかけました。天候もよく、受け取りも良好。マイク音声でアピールしながら、物価高騰へ賃上げを、フリーランス含め全労働者の賃上げを求めるアナウンスは、通行のみなさんに注目されていました。

宣伝後は事務所で、めぐろユニオン例会。今月は6名参加。23日の『多摩川スカイブリッジウォーク』への参加や、3.11子ども甲状腺裁判などの話題で盛り上がり。12月17日(土)に「めぐろユニオン望年会」です。



目黒労協：中目黒最賃宣伝行動

2022年10月1日(土)から
東京都最低賃金は
時給 **1,072円**

奪われた30年間
日本だけ、この30年、ほとんど賃金が上がっていません。
非正規で働く人は40%を超えました。
消費税は10%になりました。

8時間働けば人間らしく暮らせる生活には、
時給 **1,500円以上が必要**です。

東京春闘共同会議

11月25日(金)の夕方、中目黒駅にて最賃引き上げ後3回目となる宣伝行動を行い、15名の組合員が参加しました。東京都の新最低賃金額は10月より「1,072円」となりましたが、物価高騰はとどまるところを知らず、私たちの家計と生活はますます脅かされています。賃金の大幅引き上げや、最低賃金のさらなる引上げは、こういう状況では待ったなしと言えます。

賃上げを上回る消費者物価高騰の中、私たち自身や労働組合が「賃金上げろ」「最低賃金をさらに引き上げろ」と、声を上げるしかありません。職場で、地域で、みんなで一緒に声をあげましょう！

11月東京23区は3.6%消費者物価UP 40年7か月ぶりの高水準

「賃上げが日本経済を救う」・・・なら直ちに最低賃金引き上げを。WEB署名が展開されています。

#最低賃金1500円

最低賃金 **1,500円**
今すぐ実現へ!

#生活苦しいやつ声上げる

4月にも

最低賃金を上げてもらえませんか。

来年10月まで待てないので

地域共同で目黒区・東京労働局に要請しよう！

目黒区長 「 」様

検討中の案文

目黒地区労働組合協議会

記録的な物価高騰に対して早急な賃上げを求める要請書

【要請次項】

急激な物価高騰に対して、健康で文化的な最低限度の社会生活ができる賃金を保障するために、

- ・目黒区および区政関係労働者の出来る限り早期での物価高騰に見合った大幅な賃上げをおこなうこと。
- ・目黒区雇用の会計年度雇用職員・臨時職員などの賃金を正規雇用職員と同等に行うこと。
- ・目黒区公契約条例に定める労働下限報酬額の大幅な引き上げを行うこと。

【要請の理由】

東京都最低賃金は、2022年10月1日に改正され、1072円となりましたが、この改定は、その後の消費者物価高騰の前にまったく不十分ものとなっています。まさに、最も影響のある基礎的支出項目の物価上昇率が最低賃金の上昇分を上回り、非正規雇用など最低賃金近傍の労働者始め多くの労働者が生活困難に直面しています。

2022年11月の東京都区部消費者物価総合指数中旬速報値（11/25 総務省）では、前年同月比で3.6%と更なる上昇率となっております。食料は6.7%、ガス代は32.5%、電気代は26.0%もの上昇となっております。持家の帰属家賃を除く総合は4.7%です。中央最低賃金審議会公益委員見解は、当時3.0%程度であった持家の帰属家賃を除く総合を上回るものでなければならぬとして31円（3.3%）の引上げにし、その結果東京地方最低賃金審議会も31円（3.0%）の引上げを答申したことで、現行の1072円となりましたが、物価は、消費税の影響を除くと1982年4月以来、まさに40年7ヶ月ぶりの上昇幅となっており、物価高騰対策としての賃上げが求められています。（*以下略）

検討中の案文

東京労働局宛

要請→

11月22日の目黒労協執行委員会、目黒区長・東京労働局長あて要請を、区内団体と共同で順次提出しようとして確認しました。決定・提出次第、順次HPなどでお知らせします。



東京労働局長「 」殿

目黒地区労働組合協議会

地域別最低賃金 再改正の要請

東京都最低賃金は、2022年10月1日に改正され、1072円となりました。

しかし、この改正は最低賃金近傍の労働者にとって、最も影響のある基礎的支出項目の物価上昇率にも満たない不十分なものでした。最低賃金法第12条には「厚生労働大臣又は都道府県労働局長は、地域別最低賃金について、地域における労働者の生計費及び賃金並びに通常の事業の賃金支払能力を考慮して必要があると認めるときは、その決定の例により、その改正又は廃止の決定をしなければならない」とあります。ついては、2022年8月乃至10月の物価上昇率を勘案し、年内に最低賃金法第12条に基づき、東京地方最低賃金審議会に地域別最低賃金の再改正を諮問するよう要請します。（中略）

最低賃金法第12条には「厚生労働大臣又は都道府県労働局長は、地域別最低賃金について、地域における労働者の生計費及び賃金並びに通常の事業の賃金支払能力を考慮して必要があると認めるときは、その決定の例により、その改正又は廃止の決定をしなければならない」とあります。異例のことはありますが、いまこそ、最低賃金法第12条に基づき再改定に向けて、東京都労働局長が東京地方最低賃金審議会への諮問を行うべき時だと訴えます。諮問を行う権限は東京都労働局長にしかありません。手遅れにならないよう、直ちに諮問の決断をすべきです。物価高騰という緊急事態の中で、最低賃金改定制度を柔軟に運営していくことが求められています。最低賃金法第12条に基づき、東京地方最低賃金審議会に地域別最低賃金の再改正を諮問するよう要請します。

以上

地域での共同の取り組み

東京土建目黒支部萩の会 60 周年

11月13日萩の会（主婦の会）の60周年記念のFEST A(フェスタ)を開催し、午前は、目黒区民センター公園と中小企業センター集会所で住宅デーとワークショップを開催。約100人のスタッフが結集、来場者総数は500人でした。

公園では200人以上が来場、木工教室やコッパトイに加え、バスボムづくりやバルーンアートが人気で、土建のマスコットの「どけんたろう君」も、たくさんのお子どもたちに囲まれていました。新婦人の産直野菜や肉の販売も好評でした。2階の集会所では、景品がもらえる輪投げやお手玉ゲーム、におい袋やデコパージュづくりを行い、90人が参加。お子さんやママたちに人気でした。

午後はホールで落合恵子さんの記念講演を行い、約200人が参加しました。

「さようなら原発集会」では毎回怒れる落合恵子さんで、萩の会でも戦争反対、原発反対など運動の指針となっていましたが、私生児としての生い立ちやお母さんを介護の末、見送られたことなど、女性として人生の先輩として、生きづらさに抗う姿に共感することもしきりでした。萩の会も子どもたちが平和で公正な社会を享受できるよう、70周年に向け運動し続けていきたいです。

(東京土建/通信員)



難聴は認知症につながる！

目黒社保協で「聞こえと補聴器」学習会

10月24日、目黒社会保障推進協議会では、目黒区で高齢難聴者の「補聴器購入費補助制度」実現をめざし、学習会を行い21名の参加がありました。講師は「NPO 沖縄県難聴福祉を考える会」の杉山光勇さんで、「声は脳で聴く、声・音は末末を通じた振動を脳がキャッチしたときに受け止められる」、「老化による退化で難聴になり易くなり、放置すれば認知症にもつながる」と。さらに医師の研究や市民団体の運動で「補助制度」が広がっており、目黒でも区民の側から積極的に声をあげていきたいと思います。目黒社保協では、すでに署名活動もすすめています。(目黒社保協/事務局)



毎週木曜日の昼はめぐろピースウォーク

11/17 めぐろピースウォーク。天気もよく、今日は23人参加。毎週木曜日、12:15 中目黒舟入場公園出発、目黒銀座から児童遊園で解散、約30分の行進。誰でもok!

最後まで仲間を守れたか！ 「東京ダイヤモンド分会の解散」について思う

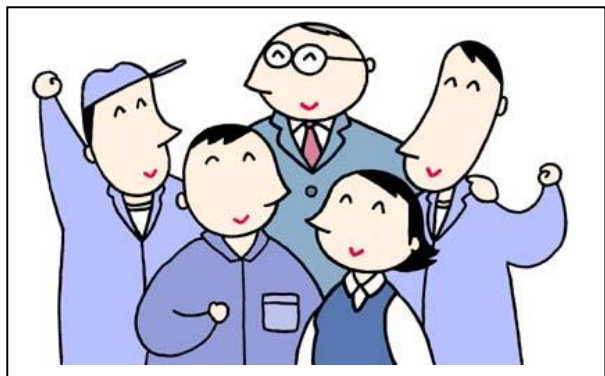
東京ダイヤモンド工具分会は産業別組織・JMITUに属していたが、伝統的に“企業内意識”が強い組織だったといっている。それでも昔は地域に出ていたから、無意識に地域の包容力に触れていた。それが近年、地域に顔を出さなくなり、徐々に企業内意識にむしばまれていった。産業別組織にも欠点はあるが、企業内意識のそれは語り尽くせない。IBM支部の闘いを見ればよく分かる。

分会執行部は、会社の「製造部門を長野工場に移転・統合の“合理化”案」に疑義を挟むこともせず、会社の計画通りに率先して異動してしまった。組合が会社と締結している労働協約では、本社工場から異動した場合、組合員資格を失うことになるらしい？

長野に行けない組合員は2人いるという。1人は産休に入っており、もう1人の組合員は、今だ運び出さない機械で仕事をしているという。懸念は機械が強引に移動されたらどうなるか。残った男性の処遇は決まっていないのである(*11/2時点)。

「労働者の生活と権利を守る」という、労働組合の単純明快な標語。ダイヤモンド分会の解散をみて、組合のこの標語はどこにいったのかと思う。労働審判に負けて残念とか、悔しいとかとは違う思いが湧いている。

「飛ぶ鳥跡を濁さず」と言うが、ダイヤモンド分会の解散はまぎれもなく・・・、本当に残念で仕方ない。(JMITU 目黒地域支部/委員長)



「時の行路」上映と講演のつどい 200名を超えるみなさんの参加がありました

11月12日(土)の目黒区民センターホールで、「めぐろ『時の行路』上映と講演のつどい」が開催され、200名を超える組合員やみなさんが参加されました。「目黒のみんなで観たい！」との思いから、労働組合や区内の団体などに呼びかけ、2月から準備してきたものです。感動的な映画に加え、講演の生熊茂実さんには、労働組合の大切さを参加されたみなさんの心に、しっかりと訴えていただきました。

当初、実行委員会で見込んだ参加者数には、残念ながら届きませんでした。それでも区内の労働組合と民主団体が力を合わせ、企画・実現した取り組みでした。これからもさらに、地域での共同の取り組みが発展することを期待したいと思います。



ご参加いただいた皆様、配券にご協力いただいた団体や皆様、本当にありがとうございました。

(目黒労協/実行委員)